

## 【4】宇久地区を支える団体

### ◇ 区長連絡協議会（地区長会） ◇

宇久地区内には、現在26の自治会がありますが、人口の減少と少子高齢化が著しく、各自治会を取り巻く情勢は大変厳しくなっています。このような中、それぞれの区長（自治会長）を中心に、地域が持っている歴史を継承しながら、コミュニティの育成に努めています。また、広報紙等の配布などをはじめ、行政との連絡体制を密にしています。

区長会では、個々の自治会の問題や宇久地区全体の問題などの情報を共有し、関係機関との連携を図りながら、活力ある地域づくりを推進しています。



### ◇ 民生委員児童委員協議会（民児協） ◇

宇久地区民生委員児童委員協議会は、地区内の民生委員14名、主任児童委員2名の16名で構成されており、構成員一人ひとりが、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」のために活動しています。

民児協では、毎月第3水曜日に定例会を開催し、情報交換などを行いながら、構成員の資質向上と活動強化に努めています。

また、関係団体・機関の方々と連携しながら、地区内のさまざまな行事などにも積極的に参加、協力しています。



### ◇ 青少年健全育成会 ◇

育成会は、「健全な心と豊かな人間性を地域で育もう」という目的で、地域の理解・支援のもと310余名の宇久っ子の健全育成のために取り組んでいます。

あいさつ・声かけ運動や、ポスターやのぼりを設置しての『ココロねっこ運動』の推進のほか、民児協、社協等とも連携しながら、さまざまな行事への参加・協力を行っています。

また、平成20年で24回目を迎えた「青少年の主張発表会」は、未来を担う子どもたちの意思発表の場として、今後とも継続していきたいと考えています。



### ◇ 老人会 ◇

宇久地区老人クラブ連合会は、15の支部（地区のクラブ）で組織されており、約1,100名が加入し、健康・友愛・奉仕の3つの目標に取り組んでいます。

各地区のクラブでは、学校と連携を取りながら、芋植え・芋掘り、七夕まつり、運動会などの学校行事に参加し、子どもたちとのふれあいを楽しんでいます。

町内行事の空き缶回収キャンペーンや花いっぱい運動などの環境美化活動にも積極的に協力しているほか、公民館事業や社協主催の異世代交流事業にも参加しています。



### ◇ 身体障害者福祉協会 ◇

宇久町身体障害者福祉協会は、会員数約150名です。

会員の福祉の向上を目指すことはもとより、町全体の活性化に寄与できることを目的として活動しています。

活発な交流が明るく元気なまちづくりに必要と思い、会員間だけでなく、地区内の他の団体や高齢者施設などの利用者の方々、さらには他地区の協会の方々との活発な交流を図っています。

また、宇久と本土の障がい者や高齢者の交流を活発にするために、フェリーなどの交通のバリアフリー化に重点的に取り組んでおり、交通バリアフリーで、活発な交流と明るく元気な町づくりを目指します。



### ◇ 生涯学習推進会 ◇

宇久地区生涯学習推進会では、住民のニーズに応えながら、地域の特性を活かした活力あるまちづくりを進めています。

体育祭、文化祭、各種スポーツ大会、音楽演奏会、青少年健全育成活動、子どもたちへの太鼓の伝承などにも積極的に取り組んでいます。

また、宇久地区公民館では、毎月「宇気宇気（うきうき）だより」を発行し、全世帯に配布して情報提供に努めています。



### ◇ 観光協会 ◇

宇久町観光協会は昭和39年に発足し、平成20年現在119名の会員で構成されています。

本協会は、伝統的な祭りや行事の後援を行い、歴史文化の継承に努めています。また、島内外の関係機関と連携を取りながら行事や特産品の紹介を行い、観光客を誘致することで交流人口の増加を図り、宇久地区の発展に貢献することを目指しています。

さらに、観光地のボランティア清掃などを行いながら、自然景観の保護にも取り組んでいます。



### ◇ みじょかクラブ（ボランティア団体） ◇

2008年春、うぶ声をあげたばかりのボランティアグループ「みじょかクラブ」は、40歳から70歳の心も容姿も若さあふれるメンバー9名で活動しています。

主な活動は、老人ホームでのお話ボランティアです。

メンバーによる三味線の演奏と入所者の方の歌の共演も楽しいひとときです。交流の中で入所者の方の豊かな心を感じ、学べることは何物にも代えがたい宝物です。

お話ボランティアとして、ゆっくり、ゆったり取り組んで

